

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】令和 1 年 6 月 6 日 (2019.6.6)

【公開番号】特開 2017-198930 (P2017-198930A)
 【公開日】平成 29 年 11 月 2 日 (2017.11.2)
 【年通号数】公開・登録公報 2017-042
 【出願番号】特願 2016-91441 (P2016-91441)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 21/18 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 21/18 1 5 3

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 4 月 24 日 (2019.4.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

感光体ドラムと、
 前記感光体ドラムを回転可能に支持するクリーニングユニットと、
 前記感光体ドラムに作用する少なくとも 1 つのプロセス手段と、
 を有する、画像形成装置の装置本体に対して前記感光体ドラムの回転軸線方向から着脱可能なカートリッジであって、
 前記装置本体に対して前記感光体ドラムの前記装着方向の下流側の位置を決めるための前記装着方向の下流側に設けられた第 1 位置決め部と、
 前記装置本体に対して前記感光体ドラムの前記装着方向の上流側の位置を決めるための前記装着方向の上流側に設けられた第 2 位置決め部と、
 を備え、
 前記装着方向に対して直交する断面において、所定方向における前記感光体ドラムの回転軸線から第 1 位置決め部までの距離に比べ、所定方向における前記感光体ドラムの回転軸線から前記第 2 位置決め部までの距離が大きい
 ことを特徴とするカートリッジ。

【請求項 2】

前記第 1 位置決め部は、鉛直下方へ突出した第 1 当接部と、前記装着方向に対して直交する断面において第 1 当接部とは直交する方向へ突出した第 2 当接部と、を有し、
 前記第 2 位置決め部は、鉛直下方へ突出した第 3 当接部と、前記装着方向に対して直交する断面において第 3 当接部とは直交する方向を支持するための第 4 当接部と、を有し、
 前記感光体ドラムの回転軸線からの距離は、前記第 1 当接部に比べ、前記第 3 当接部の方が大きく、かつ
 前記感光体ドラムの回転軸線からの距離は、前記第 2 当接部に比べ、前記第 4 当接部の方が大きい
 ことを特徴とする請求項 1 記載のカートリッジ。

【請求項 3】

前記感光体ドラムの回転軸線から前記第 1 当接部までの距離は、前記感光体ドラムの半径に比べて大きい、
 ことを特徴とする請求項 2 に記載のカートリッジ。

【請求項 4】

前記感光体ドラムの回転軸線から前記第 2 当接部までの距離は、前記感光体ドラムの半径に比べて大きい、
ことを特徴とする請求項 2 または 3 に記載のカートリッジ。

【請求項 5】

前記第 1 位置決め部は、所定方向へ突出した第 1 当接部と、前記装着方向に対して直交する断面において第 1 当接部とは交差する方向へ突出した第 2 当接部と、を有し、

前記第 2 位置決め部は、前記所定方向へ突出した第 3 当接部を有し、

前記感光体ドラムの回転軸線からの距離は、前記第 1 当接部に比べ、前記第 3 当接部の方が大きく、かつ

前記感光体ドラムの回転軸線から前記第 1 当接部までの距離、及び前記感光体ドラムの回転軸線から前記第 2 当接部までの距離は、前記感光体ドラムの半径に比べて大きい、
ことを特徴とする請求項 1 に記載のカートリッジ。

【請求項 6】

前記プロセス手段は、帯電手段または現像手段またはクリーニング手段であることを特徴とする請求項 1 ないし 5 のいずれか 1 項に記載のカートリッジ。

【請求項 7】

感光体ドラムと、前記感光体ドラムを回転可能に支持するクリーニングユニットと、前記感光体ドラムに作用する少なくとも 1 つのプロセス手段と、を有するカートリッジと、
第 1 側板と、

第 2 側板と、

を備えた、前記感光体ドラムの回転軸線方向から前記カートリッジが着脱可能な画像形成装置であって、

前記カートリッジは、前記カートリッジの装着方向の下流側に設けられた第 1 位置決め部と、前記装着方向の上流側に設けられた第 2 位置決め部と、を備え、

前記第 1 側板は、前記装着方向の下流側に配置され、前記第 1 位置決め部を支持する第 1 規制部を有し、

前記第 2 側板は、前記装着方向の上流側に配置され、前記第 2 位置決め部を支持する第 2 規制部を有し、

前記装着方向に対して直交する断面において、所定方向における前記感光体ドラムの回転軸線から第 1 規制部までの距離に比べ、所定方向における前記感光体ドラムの回転軸線から前記第 2 規制部までの距離が大きい

ことを特徴とする画像形成装置。

【請求項 8】

前記第 1 規制部は、所定方向へ延びる第 1 支持部と、前記装着方向に対して直交する断面において第 1 当接部とは直交する方向へ延びた第 2 支持部と、を有し、

前記第 2 位置決め部は、前記所定方向へ延びる第 3 支持部と、前記装着方向に対して直交する断面において第 3 支持部とは直交する方向を支持するための第 4 支持部と、を有し、

前記感光体ドラムの回転軸線からの距離は、前記第 1 支持部に比べ、前記第 3 支持部の方が大きく、かつ

前記感光体ドラムの回転軸線からの距離は、前記第 2 支持部に比べ、前記第 4 支持部の方が大きい

ことを特徴とする請求項 7 記載の画像形成装置。

【請求項 9】

前記第 1 位置決め部は、所定方向へ延びる第 1 支持部と、前記装着方向に対して直交する断面において第 1 支持部とは交差する方向へ延びた第 2 支持部と、を有し、

前記第 2 位置決め部は、前記所定方向へ延びた第 3 支持部を有し、

前記感光体ドラムの回転軸線からの距離は、前記第 1 支持部に比べ、前記第 3 支持部の方が大きく、かつ

前記感光体ドラムの回転軸線から前記第 1 支持部までの距離、及び前記感光体ドラムの回転軸線から前記第 2 支持部までの距離は、前記感光体ドラムの半径に比べて大きい、ことを特徴とする請求項 7 に記載の画像形成装置。

【請求項 10】

前記第 1 規制部と前記第 2 規制部は、前記画像形成装置の装置本体に対し、前記感光体ドラムの位置を決めるための位置決め部であることを特徴とする請求項 7 ないし 9 のいずれか 1 項に記載の画像形成装置。